

議事録：平成27年度 第2回石狩市文化財保護審議会

■日時：平成28年1月15日（金）15:00～16:30

■会場：石狩市民図書館 視聴覚ホール

■出席者

石狩市文化財保護審議会委員

- ・村山耀一（会長）
- ・百瀬響（副会長）
- ・小杉康
- ・鈴木明彦
- ・菅原晴美
- ・宮野裕子
- ・加藤和子

事務局

- ・鎌田英暢（教育長）
- ・東信也（生涯学習部次長）
- ・工藤義衛（文化財課長・学芸員）
- ・志賀健司（主査・学芸員）
- ・荒山千恵（主任・学芸員）
- ・大橋淳二（主任）

■欠席委員

三浦泰行

■傍聴者

0名

■議事

教育長あいさつ

1. 会長あいさつ

2. 報告

①平成27年度事業実績について

②平成28年度事業計画について

③プロジェクトMの活動について

3. 協議

地域資料の取り扱いについて

4. その他

イベント案内その他

上記2、3、4での質疑応答は下記のとおり

会長 平成27年度事業実績について報告願います。

志賀 資料館入館者数、講座、展示、小中学校における出張授業について資料に基づき説明。

会長 1、2ページ目の平成27年度事業実績について質問等ございますか？

百瀬 10月25日の講座の中止は天候のせいですか？

志賀 そうです。悪天候のため中止となりました。

会長 他に質問等はございますか？

菅原 小中学校における出張授業はとてもいいことだ。小学校で授業を受けた生徒に対して、中学校では内容を変えたり、同じような内容でもレベルを上げるなど、発達段階に応じたプログラムを組むことが必要だと思うが、そのようなことを意識して授業を行なっていますか？

荒山 はい。

会長 厚田資料室の入館者が減った理由は？

工藤 毎年来てくれる戸田墓苑の花見客が減少したこと、リニューアルから数年たっていること等が影響したと考えられる。

会長 3、4ページの平成28年度事業計画について報告願います。

志賀（荒山） 講座、展示、小中学校における出張事業について資料に基づき説明。

会長 質問等ございますか？

菅原 荒山さんに質問です。出張授業での生徒達の反応、どういうことに興味を持ったのか、授業で改善すべき点などがあれば教えてください。

荒山 身近にある遺跡の実物や模型を使って授業を行ったが、本や写真とは違って実感をもっていろいろ考えたり、気づいたり、とても意欲的に取り組まれていました。

教科書で学習した縄文土器の実物にふれ、他の時代も調べてみたいという感想もあり効果的であったと思います。

菅原 資料館のパンフレットに授業での生徒の感想や写真など具体的な活動がわかるようなものをのせてはどうか。そうすれば授業を希望する学校が増えるのではないか。

百瀬 教わるだけでなく、生徒達自身が学習し発表する場をつくることも大切ではないか。

菅原 アクティブラーニングですね。

加藤 ボランティアとして学校に行きましたが、真剣に授業をきく生徒を見て、専門家が実物を見せて授業をする大切さを感じました。

会長 学校に対しては、継続的・計画的に授業等を行っていただければと思います。

工藤 今回配布したパンフレットもそのひとつだが、先生方に授業についての要望、意見を聞くなど、学校とのコミュニケーションをしていかななくてはならない。

菅原 鈴木先生に質問ですが、学習支援員として大学院生等を石狩市の小中学校の派遣していたことはありますか？

鈴木 以前は理科支援員として4年生や院生を派遣していましたが、交通費の問題や時間的な余裕がない等で一昨年位から派遣が難しくなっている。

会長 次はプロジェクトMの活動についてお願いします。

志賀 プロジェクトMの資料に基づき説明。

会長 プロジェクトMは石狩の魅力を見つけようと現在15名の方が活動していますが、それについて何か質問等ありますか？

菅原 浜益の冊子では年表や地図を最初にのせた方が、よりその内容が引き立つと思います。

志賀 そうい意見があったということで、直していきたいと思います。

小杉 スタディツアーの成果報告として冊子を作成したのですか？

志賀 報告書としてではなく、皆さんで情報を共有するために作成しました。

小杉 冊子は、エコミュージアムで持参するものか、図書館等しかるべき施設に置くものかで変わるわってくると思うが、その辺を念頭において作成していただければと思います。

菅原 もっと知りたい人のためにURLを載せたり、レイアウトをよくしたりして、エコミュージアムで持ち歩ける冊子を作っていただければと思います。

会長 協議の地域資料の取り扱いについてお願いします。

工藤 郷土資料である地域資料、博物館資料、遺跡等について市民に情報提供をしていきたいが、社会教育総合施設を念頭におき、まずソフトの考え方を協議していただけたらと思います。

菅原 施設ができる前に目録作りはしますか？また作るのであれば手順を教えてください

い。

工藤 まだ具体的なスケジュールはお話しできませんが、データベース等の整備は必要になってくると思います。

菅原 市民の方が資料の活用方法等を話し合う場を設けることも必要ではないか。

小杉 郷土資料というとなにか古い感じがする。文化資源、地域資源、郷土資源という言葉はどうか。資源だと活用しなくてはいけない。また普通の資源と違い、使えば増えるものである。言葉の響で意識が変わってくるのではないか。

会長 何か良い言葉がないか、今後検討していただけたらと思います。

鈴木 データベースをデジタル化し、さらにそれが検索できるようになれば、いろいろ活用ができると思う。

小杉 デジタル化と同時に現物資料というものをどのように保存していくかが重要になってくる。

東 社会教育総合施設については現在検討中ではありますが、地域の資料については待ったなしであり、まずは具体的な方向性を出さなくてはならない。今後、テーマ性をもった資料の提供のあり方やテーマの内容等についても皆様にご相談させていただきたいと思います。

会長 その他で何かありますか。

志賀 1月と2月の石狩大学博物館では、一年間の調査研究の成果を紹介、市民に還元しています。よければ周りにもお勧めしていただければと思います。

会長 これで第2回石狩市文化財保護審議会を終わります。

議事録を確認しました。

平成28年2月18日

石狩市文化財保護審議会

会長 村山 耀一